

あとがき

今回は野崎一良(京都在住)の鉄及びステンレスの鑄造による彫刻展で、新作(1980～83)18点の展示である。野崎さんの東京での個展を前回の南画廊の展覧会以来7年振りで当画廊で開催することになったのをうれしく思っている。この機会に、野崎一良の作品を多くの方にみていただきたいと思う。

当画廊にとっては立体の展覧会はアルマン(1980年5月)以来で今回で2回目であり、新しい画廊ではもちろん初めてのことである。3米80と天井の高いこの新画廊の空間は、彫刻・立体こそその展示にふさわしい。野崎さんの作品がこの空間でどんな風にみえてくるか楽しみである。

この展覧会のカタログテキストは「野崎一良展のために」と題し大岡信さんからご寄稿いただいた。大変うれしく思っている。お忙しいところ、ありがとうございました。

1983年3月14日

佐谷画廊
佐谷和彦